

幽灯商店へようこそ



— 禍福の賽子 —







ひっそりと佇む、
奇妙な店があるという



伝説によれば、
この町外れの細い路地に――



ようこそ、幽灯商店へ、
見知らぬお方

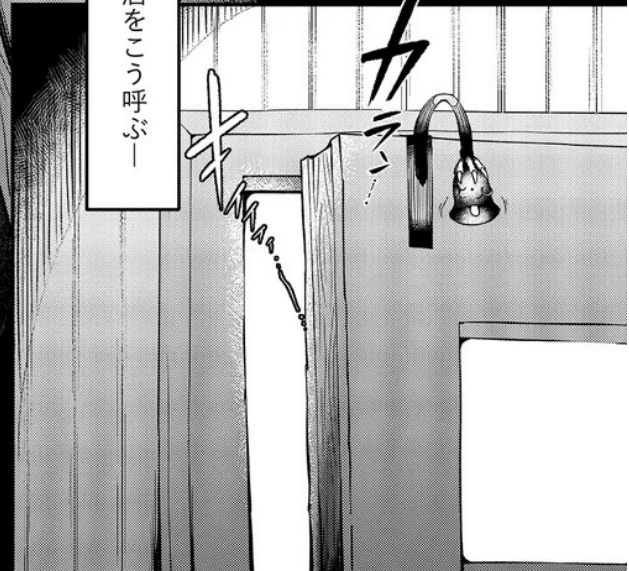
今日は、どんなお悩みを
抱えて来たのかしら？



そこでは、あらゆる悩みの
『代償』と引き換えに

解決してくれる品が
並んでいるという

人々はその店をこう呼ぶ――





運が欲しくて…

最近…少し



あのう…
噂を聞いて、
来たんですが…

あらく可愛らしい
お客さまですね
お探しのものがあれば、
何でもお聞きください



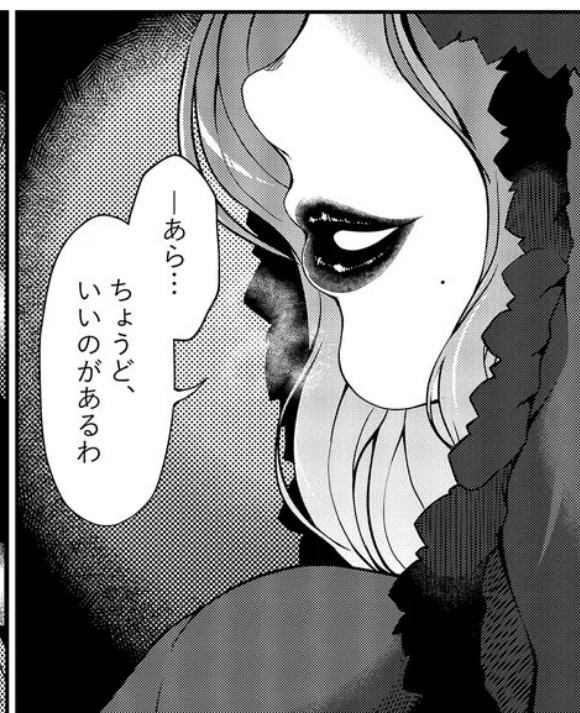
…『幸運』ですね

それなら、
少しだけお待ちください

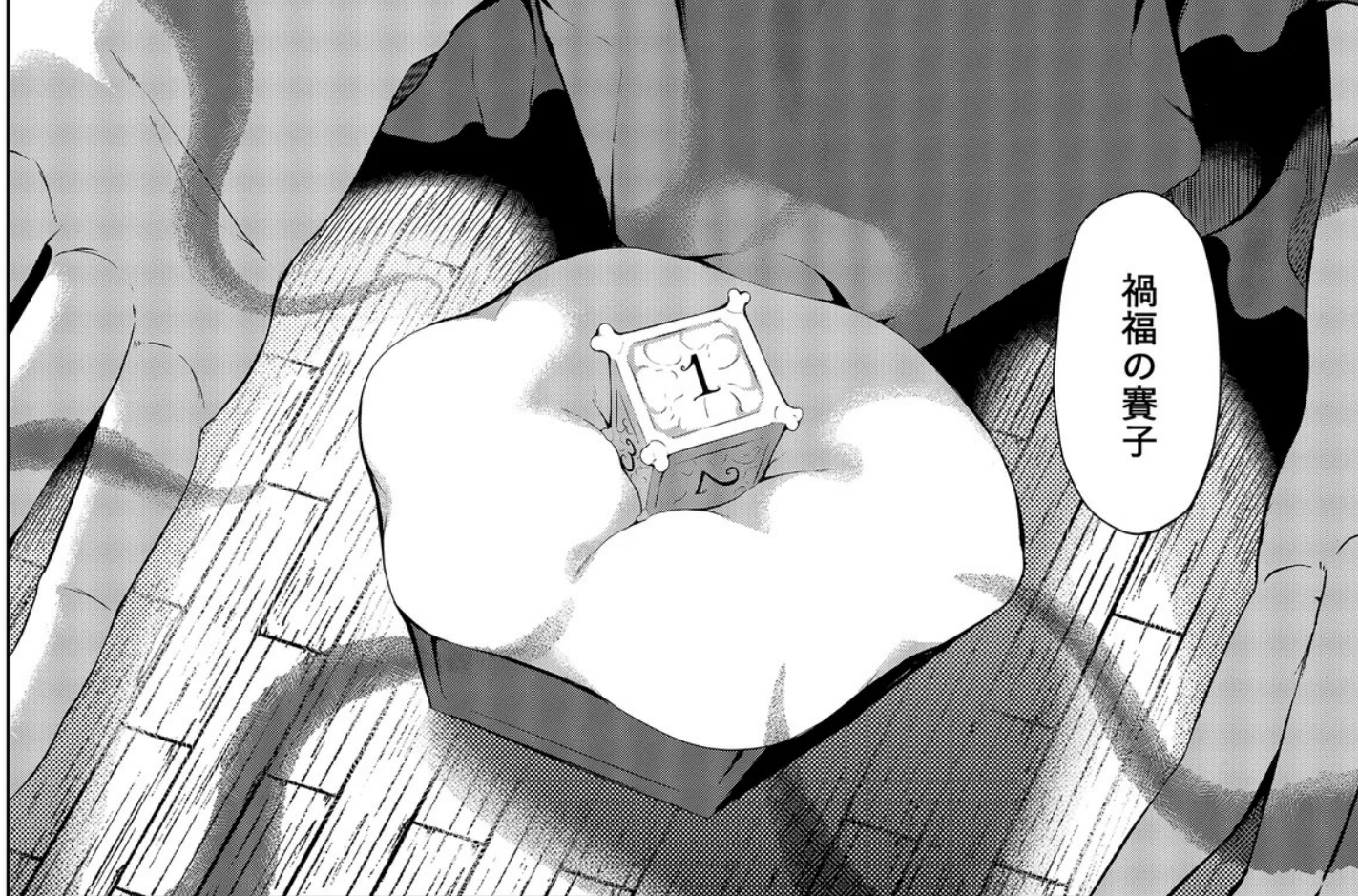
…この店、空気が重い
なのに…妙に落ち着く…



…本当に…
そんなものが…



—あら…
ちようど、
いいのがあるわ



禍福の賽子



その分、幸運も、
きちんと届くわ

願いが大きいほど、
出る目も大きくなる



…サイコロ？

願いを込めて、
賽子を振るだけ

ええ…

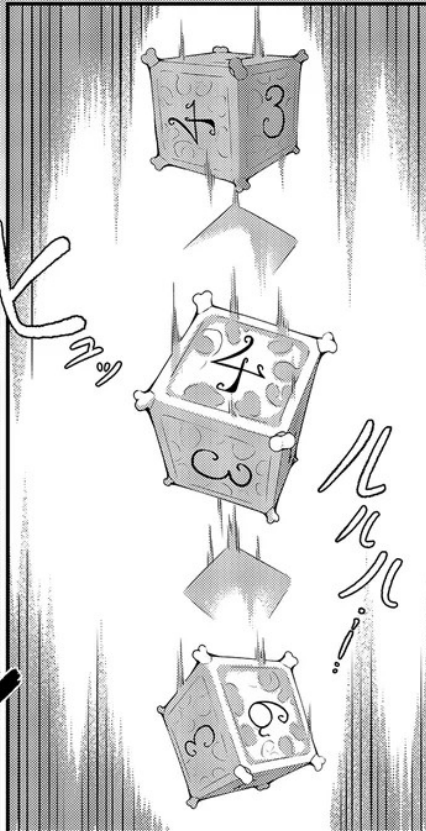
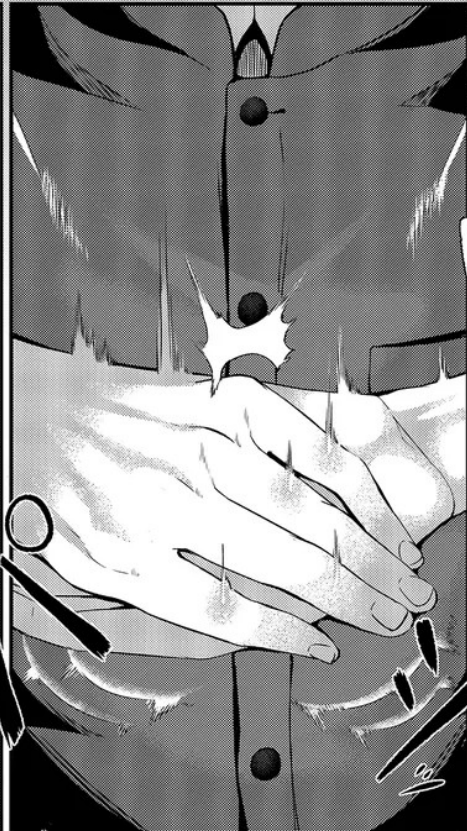
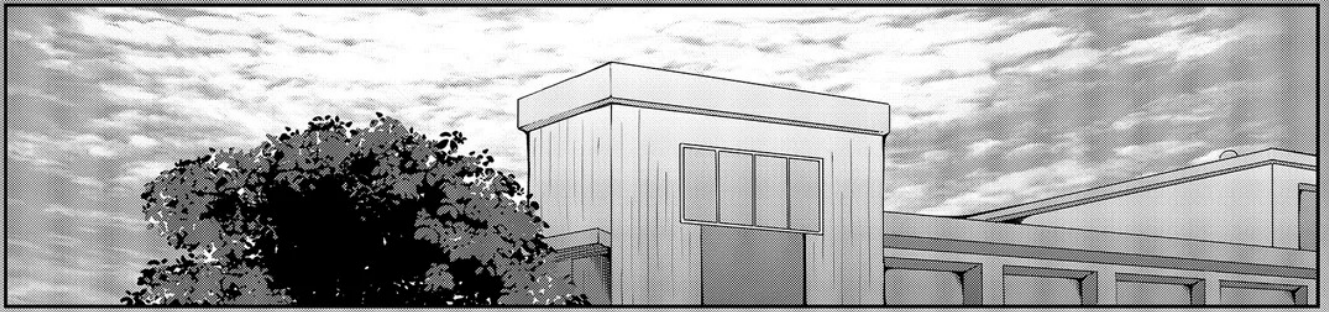


…本当に
叶うんですか…？

…ただし、ひとつだけ
忠告があるわ

ふふ…ええ
何でもね









…でも、本当に……
あのサイコロの力なのか？



さあ……
支払いの時間だよ

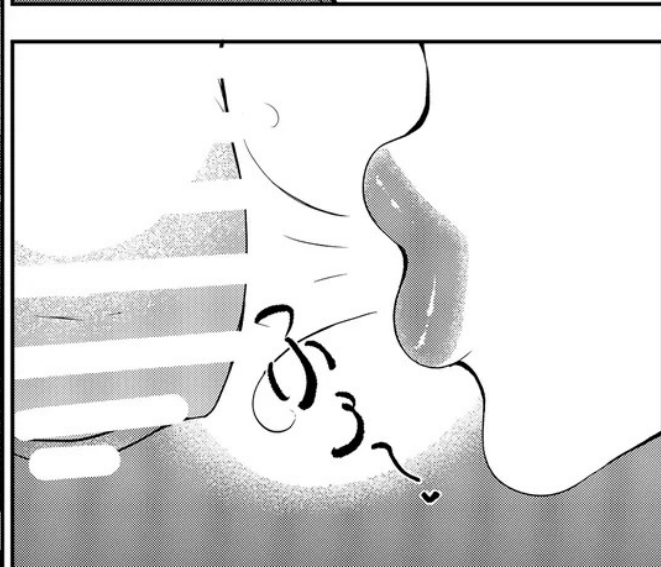
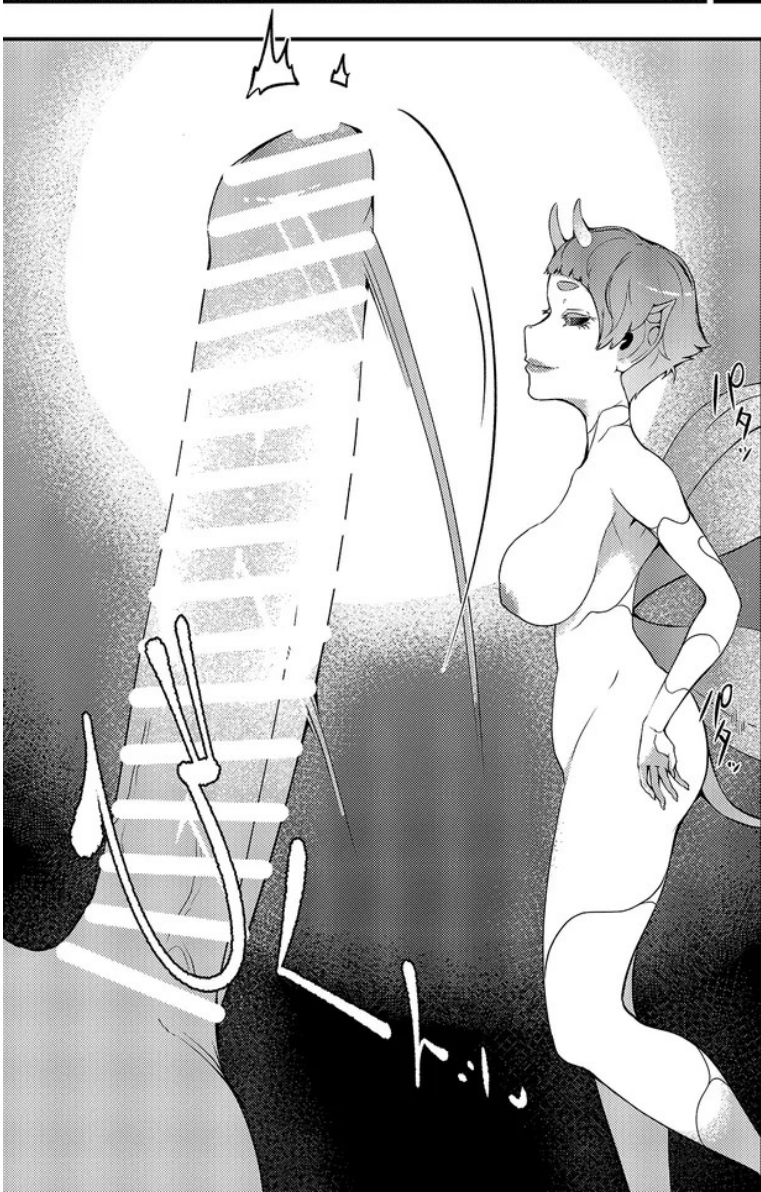
!?

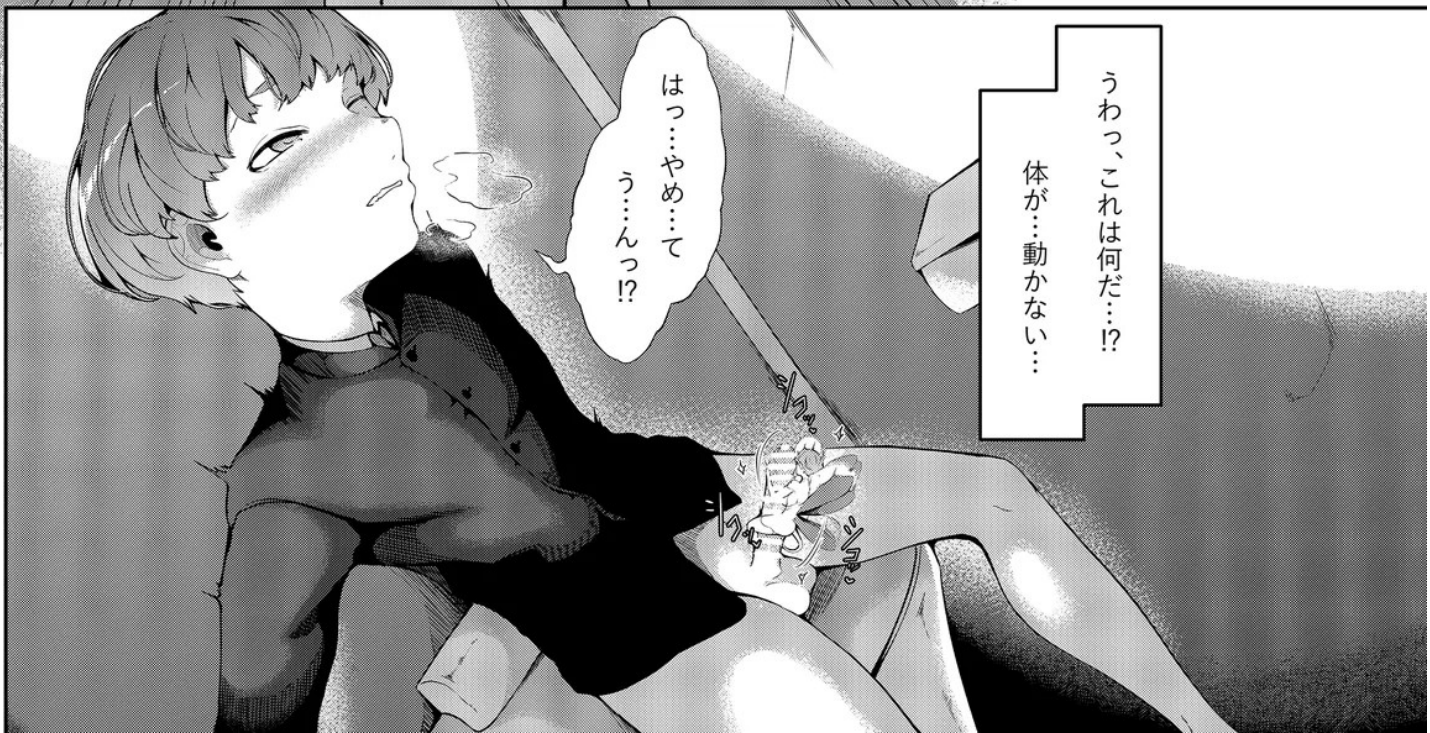


1で……ここまで？
最初から、
合格してた……とか……？

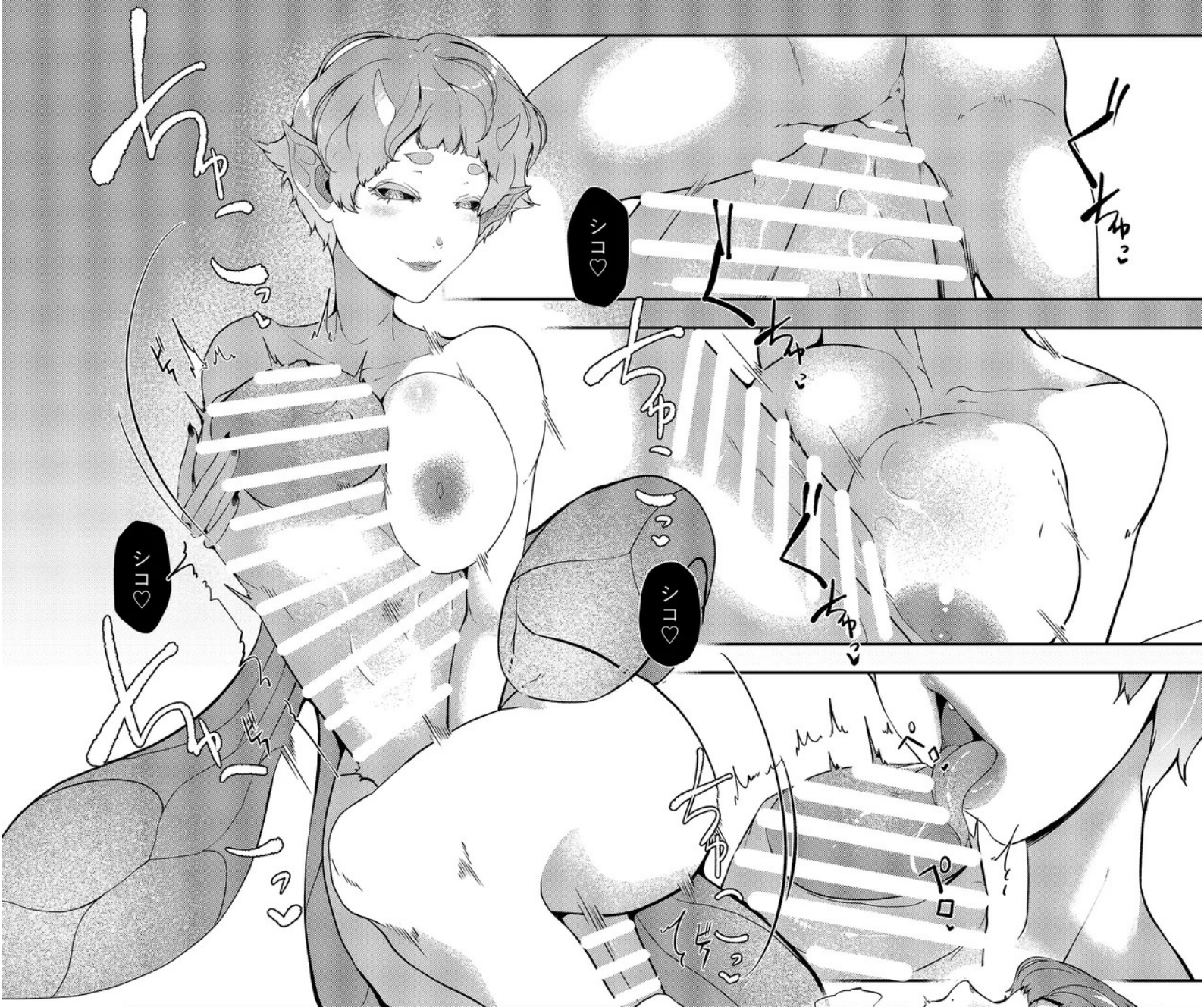


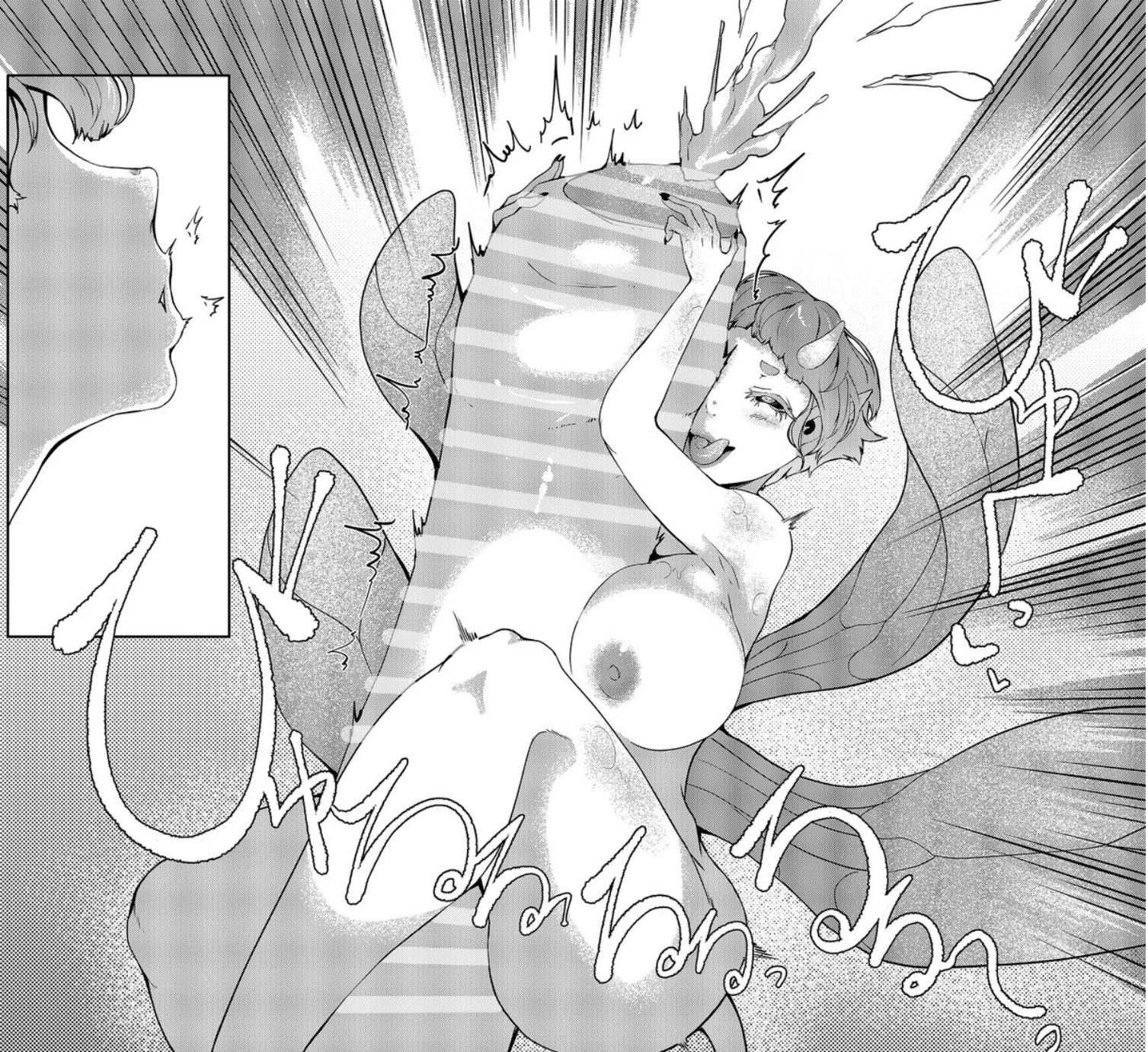
…まさか、自分の
実力だなんて、思っていないよね？











…気持ちいい…

…意識が…
だんだん…





大胆な願い、
試してみようかな

だから…もうちょっと

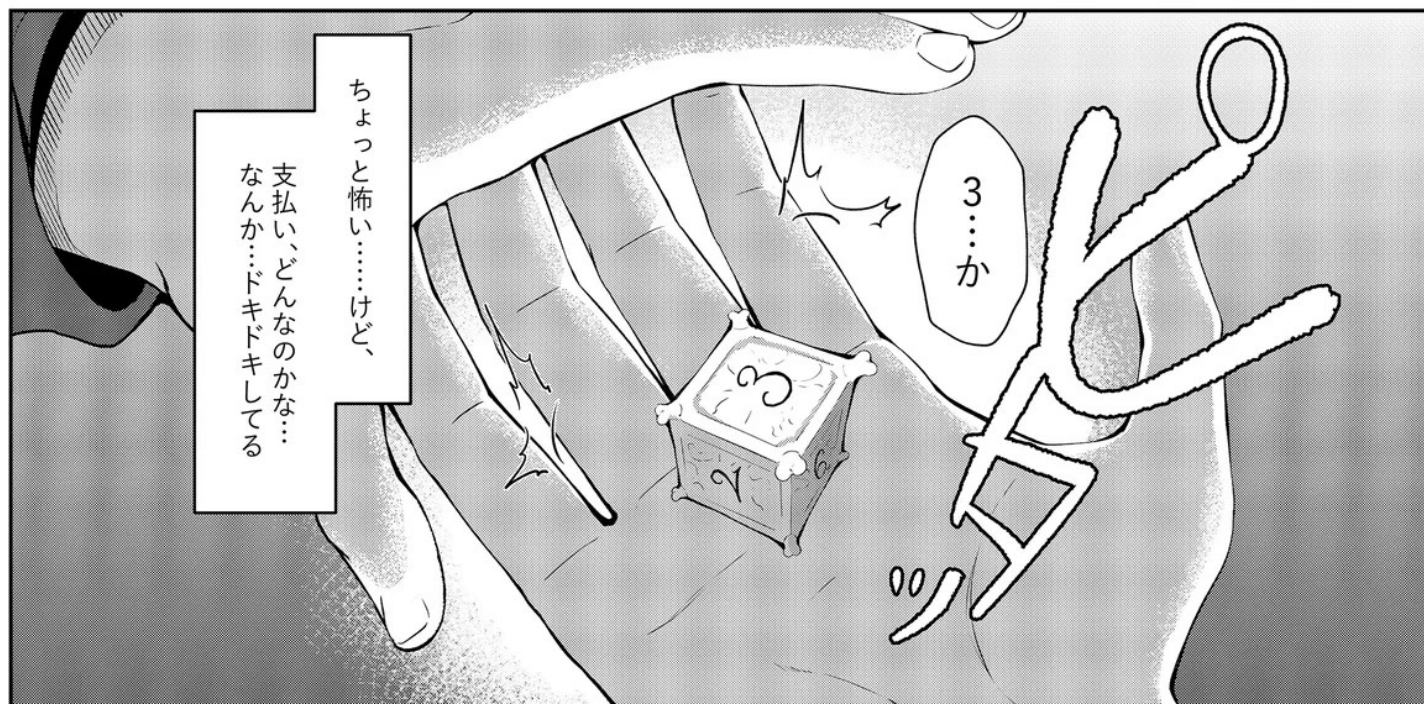


こうして…
…初めてのサイコロ、

…代償のこと怖かったけど…
結果は…意外と嫌じゃなかった



…頼む!!



ちょっと怖い…けど、
支払い、どんなのかな…
なんか…ドキドキしてる

3…か



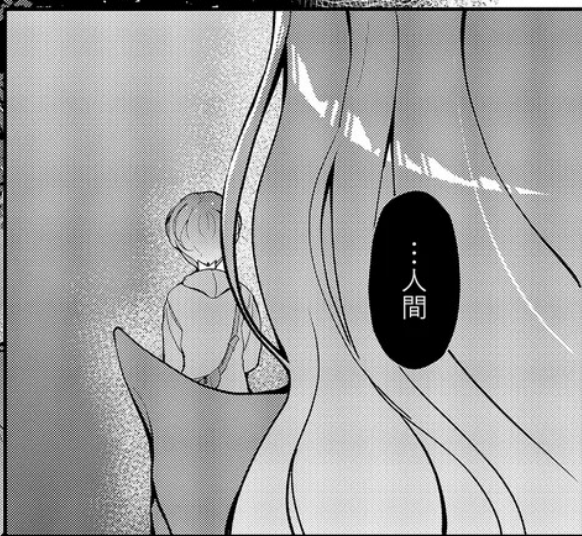
このサイコロがあれば…
なんでも手に入る気がする…



…まさか、また
本当に叶っちゃった…



支払いの時間だ

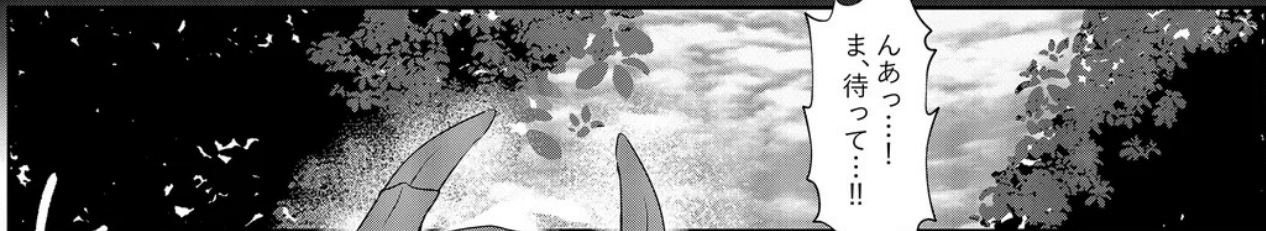


…人間



…来た…

えっ!?



んあっ…!!
ま、待って…!!



…抵抗は無意味だ

…こんな支払い、
甘すぎるだろう？



んっ…ああっ…!!

おっぱいが…こんなに…
挟まれて…っ!?

柔らかくて…おち○ちん…
溶ける…みたい…



んっ…!

おち○ちん…
もっと…締めつけられて…

熱い…谷間が…
ぬるぬる…

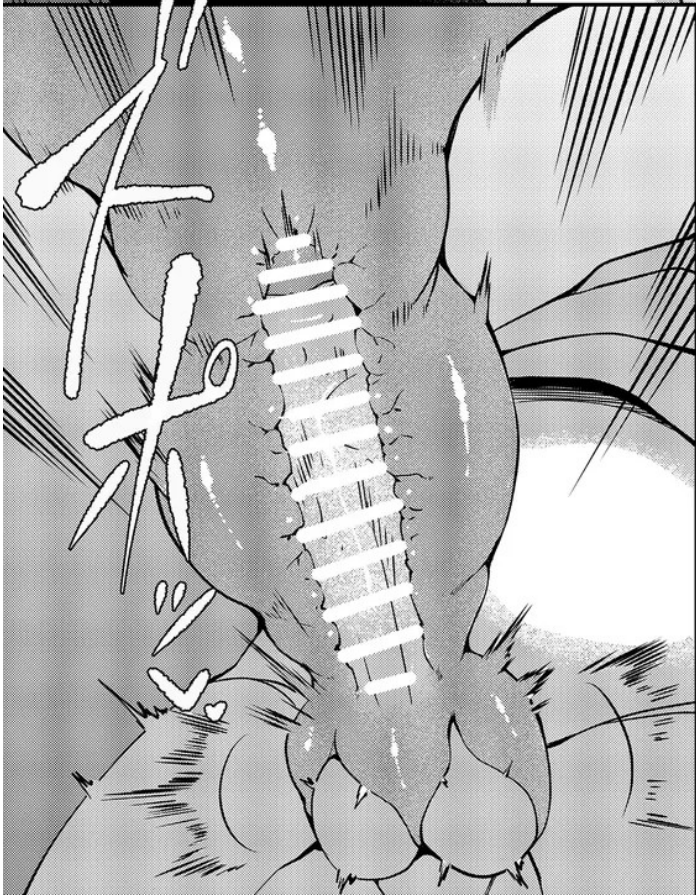
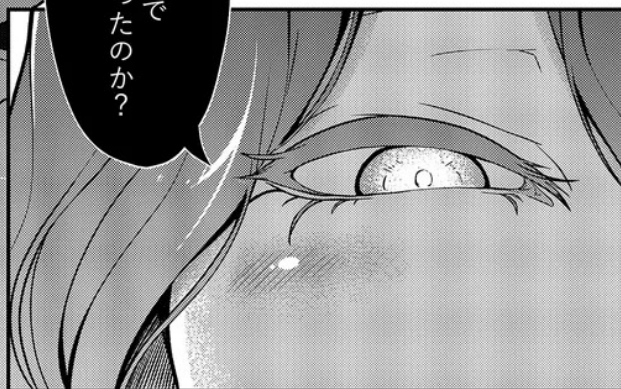


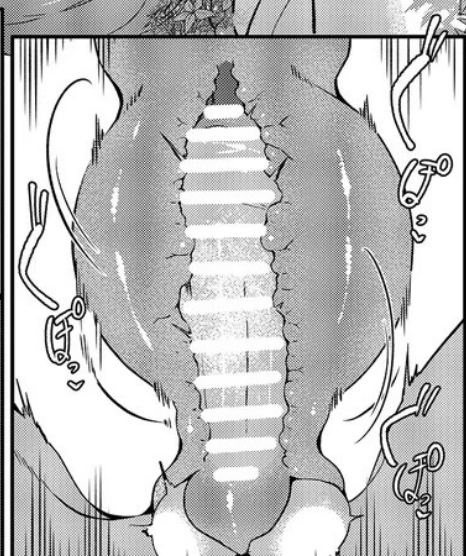
…我慢するな
全部出せ



はあ…だめ…
もう…限界…









…来たか。
これで支払い完了だ

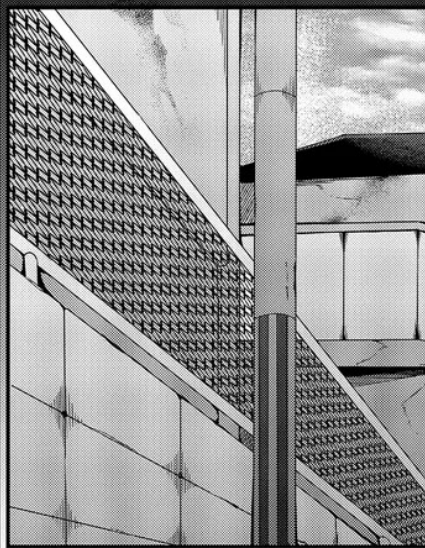
あの日は…
何度も何度も出して…

気絶してしまった…



…その日までは…

おいおい、
お前こんな
良いモン隠してんのかよ



それから…結構長い間、サイコロは
なんとなく使えなくなっていた…

カラオケ



黙れ!!



返せよ…



クソ…

こんなヤツ…
いなくなればいいのに…



なんだこれ!?



…っ!?



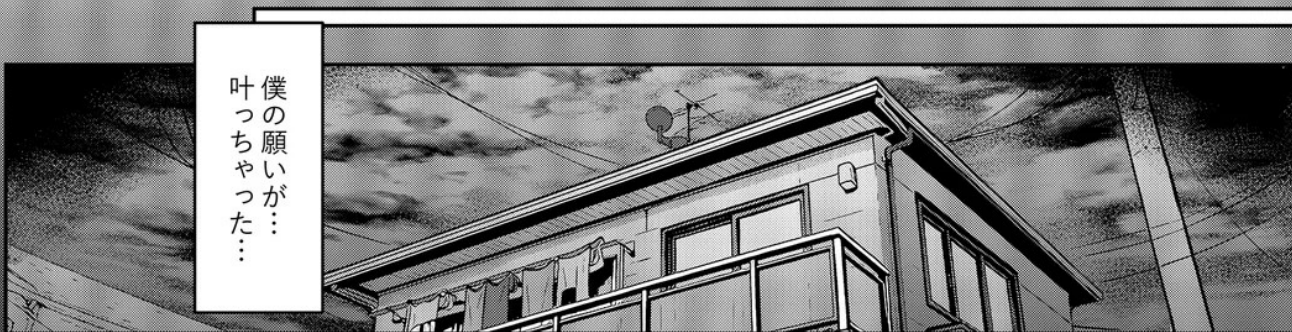
まさか…



たすけ…っ!!



こんなことになるなんて…
思わなかった…



僕の願いが…
叶っちゃった…



…!?

フフ…



僕のせいで…
あいつが…



あの店の…っ!?



随分とんでもない願いをかけたな



『代償』を払うつもりだ?



…ならば、

人を殺したことになるな



…どれだけの





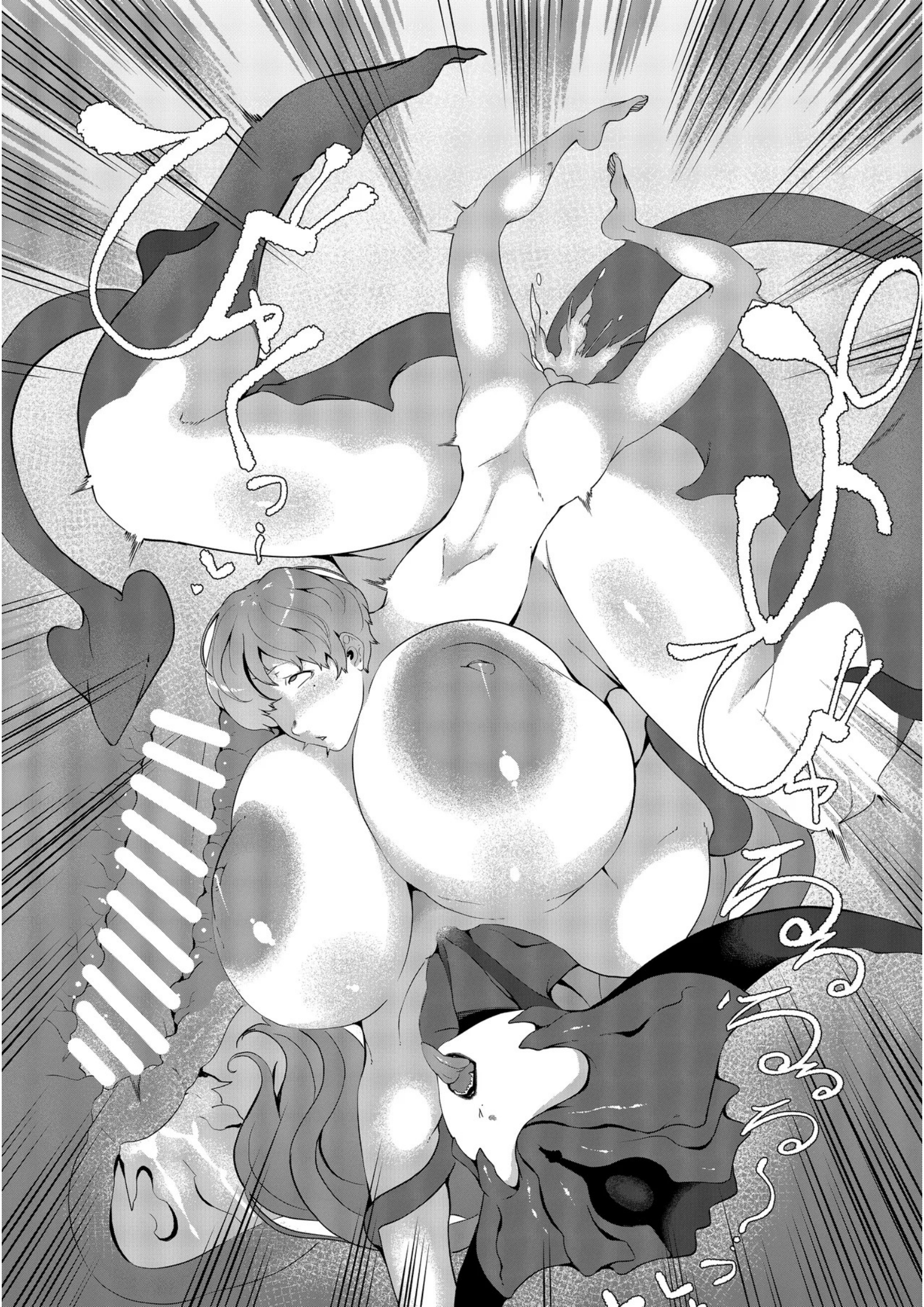
中が熱くて……きつくて……
お○ん○ん……締めつけられて……!!

気持ち……よすぎて……
頭……おかしくなる……!!











まさか、お前が
負債者になるとはな



ここで大人しく支払いを続けろ

永遠に



あら

ようこそ、幽灯商店へ、
見知らぬお方

